

樹木オリエンテーリング

樹木を友達と協力して地図を見ながらヒントカードを手がかりに見つけ出す活動です。

- ・樹木の観察を通して、樹木に関する関心を高める。
- ・友達との協力や信頼、友情の大切さを感じさせるとともに、連帯感を高める。
- ・地図の縮尺・記号を知り、地図から地形を読み取る能力を高める

春期：緑色 秋期：橙色



時 期	4月～10月	所要時間	2～3時間	人 数	200名
対 象	小学校中学年以上	活動場所	自然の家エリア内(樹木20種類)		
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物		
	<input type="checkbox"/> 記録用紙つきマップ <input type="checkbox"/> ヒントカード <input type="checkbox"/> ハンドマイク <input type="checkbox"/> ストップウォッチ <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 熊鈴		<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 飲み物		
活動の手順	事前指導	1 引率者の役割分担をする。 ・スタート兼ゴール地点及び巡視しながら活動パトロール 2 用具等の準備 ・運動できる服装(帽子・タオル・軍手)及び水分 ・記録用紙つきマップやヒントカード等の準備をする。(保管場所:乾燥室)			
	活動の実際	1 活動の説明を聞く。 (1)ねらいの確認 (2)活動方法 ○樹木の樹皮、枝の付き方、葉の特徴、花や実の付き方等を観察する活動です。 (3)注意事項 ①野外での危険生物に注意させる。②田畑等に入らないよう注意する。③班の全員で一緒に行動するよう指導する。④制限時間があるので、帰路の時間も考えて行動するよう指導する。 2 活動開始 (1)スタート ※春期用(標識:緑色)と秋期用(標識:橙色)の2種類があります。 ※「樹木OL」と「ミニ樹木OL」の2種類の標識があるので注意させる。 ※ヒントカードを手がかりにして、記録用に記入させていく。 (2)活動中 ※引率者は活動中における活動状況の観察や安全保持のためのパトロールをする。 ※活動中に樹木のスケッチや樹木の説明を取り入れることも可能。 ※活動終了20分までにハンドマイクのサイレンで終了のお知らせをする。 (3)ゴール ※活動後、より詳しく調べる時間を設定して学びを深めるとより効果的になる。			
	事後	1 終了後、参加人数や怪我の確認をする。 2 用具の返却			
備 考					